

令和5年度 自己評価結果公表シート

学校法人 串木野学園
幼保連携型認定こども園
くしきの森のこども園

1. 本園の教育目標

ひとりひとりの幼児が幸せな生活のできる「いしずえ」をきずき、豊かな保育環境と宗教的情操教育のなかで心身の調和的な発達をはかる。家庭的なくつろいだ雰囲気の中で、個々の子どもの欲求を十分に満たし健康と情緒の安定を心がける。そして、子どもの個性と年齢に応じた幼児期としての望ましい生活習慣の自立を援助すると共に、すこやかな心と身体の発達をはかる。自然の中でのあそびと生活体験、教育的配慮をもって、豊かな経験の場をつくる。子どもを主体とし、子どもの視点に立ってどんな時でも、子どもの気持ちを受容できる教育保育環境

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育・子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員・保護者と共通理解をはかる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

- ・幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育、保育、子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員間の共通理解をはかった。
- ・主幹保育教諭・各クラス担任のもと教育・保育計画について話し合い、各クラスごとに指導計画を作成した。幼児の主体性を尊重し、幼児の成長を一番に考え指導計画を作成することができた。
- ・園児が意欲的かつ主体的に園生活および活動に取り組めるよう努めた。意欲的に取り組んだ結果、園児が自信を持って行動できる機会を数多く用意し、コロナ感染防止の為今年度は特に衛生面を留意して安心して活動できるように努めている。保護者との連携
- ・定期的に誕生会・参観日等を実施し、園児・保護者・保育者の信頼関係の構築に努めている。
- ・保育のねらい・教育効果等について、保護者に理解を深めて頂くために、園だより・お知らせ等について詳細に記載するとともに、行事等の際には、現在の園児の様子や取り組み等をできる限り詳細に説明を実施した。
- ・保護者会との連携を密にし、会議においては園の考え方や今後の取り組み、子どもの育ち等を詳しく説明し、保護者会活動に協力いただけるように努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育計画の達成への取り組みについて共通理解を深めることができた。さらに、職員が幼児教育・保育に、充実感、やりがい、喜びを大いに感じられる様一人一人が高い意識を持ち取り組むことが出来るようになった。アンケート結果、保護者からのご意見について話し合うことを通して、今後の課題への取り組みを職員が共有することができ、職員が一丸となって今後の課題へ取り組むことによって、より一層の教育効果向上と保育の充実を図ることが出来る。

5. 今後取り組むべき課題

職員間で、幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえて共通理解を深めるとともに、教育・保育計画の作成についてさらに見直しを進め、教育効果の向上・保育の質の向上に努める。

- ・園児の個々の特性、家庭環境等子どもの実情をさらに把握し、それをベースにして、日々の教育・保育を計画し実践していく。
- ・職員が個々の課題を見据え、研修に取り組みやすい様環境を構築していく。また、保育者がお互いの保育を参観する等の園内研修の機会をさらに確保するとともに、あらゆる角度から教育・保育の技術向上のため、より一層研修に努める。

6. 学校関係者の評価

学期末評議員会において評議員の方々に、「保護者アンケート」の学校評価を実施して頂きました。その結果、保護者会評議員様より頂いた主なご意見

- ・今後とも園児が園生活をのびのびと過ごせるように日々工夫を継続していただけるようお願いいたします。
- ・多岐にわたる観点にも配慮され、日々安定した教育・保育を提供していただいていることに改めて心より感謝しています。

7. 財務状況

当園は毎年、公認会計士による監査を実施致しております。本年度も適正に運営されていると認められています。